

特別レポート

中学校武道必修化 第5回アンケート調査結果について

公益財団法人日本武道館 三藤 芳生
常任理事・事務局長



平成24年度に全国1万余校の中学校において武道が必修化されてから、丸7年が経過しました。（公財）日本武道館では、中学校武道授業充実のため、過去4回「中学校武道必修化に関するアンケート調査」（平成23・25・27・29年度実施）を行ってきました。今回は、平成29・30年度の実施状況について、全国都道府県及び政令指定都市教育委員会に対し、アンケート調査を実施いたしましたので、結果の概要を報告いたします。

調査概要

①調査の目的

全国都道府県・政令指定都市における平成29・30年度中学校武道必修化の現状を把握し、的確な情報収集を行うことによって、その結果を武道各種目の全国指導者研修会、指導法研究事業、また全国各地域における指導者研修会等に生かし、中学

校武道必修化の充実に資する。

②調査実施時期

平成31年4月19日（金）～令和元年6月14日（金）

③調査対象

全国都道府県教育委員会47カ所・政令指定都市教育委員会20カ所の合計67カ所が管轄する国公立中学校（回答率100％）。

平成29年度 国公立中学校全98校のうち調査対象校9371校
平成30年度 国公立中学校全98校のうち調査対象校9613校

④調査方法

各都道府県及び政令指定都市の国公立中学校における平成29・30年度の中学校武道必修化の実施状況について、各項目にわたり具体的な回答を依頼しました。

⑤備考

調査項目によって、未調査・未回答の都道府県及び政令指定都市があります。よって、その学校数を除いた数を基に、各項目の割合を集計しています。従って、中学校の合計数と調査対象校数が一致していないことをお断りしておきます。

調査結果概要

①武道場設置校数

武道場設置校数の割合は必修化初年度の平成24年度が50・5％、平成30年度が59・4％と上昇しています。ただし、少子化の影響で中学校の生徒数が減少しており、小規模校の武道場設置は進んでいません。なお、全国の国立・公立・私立中学校総数10270校のうち、約半数の学校に武道場が設置されていると推測されます。

②武道場設置数

前回までは武道場設置校数のみの調査でしたが、今回は武道場の設置数及び内訳についても、調査を行いました。

大規模校においては柔道場、剣道場、弓道場を併せ持つ学校もあり、30年度は調査対象校7056校に対し、5821館、対象校比82・5％の武道場の設置数がありました。

③武道場内訳

30年度の武道場設置率内訳は、柔

道場が33・9％と最も多く、次に剣道場の30・7％、総合武道場等が12・6％という結果が得られました。弓道場、相撲場は、割合は少ないのですが、増加傾向にあります。

④実施種目

平成30年度の各種目実施率は、柔道が64・5％、剣道が34・4％、次に相撲3・3％、空手道2・3％と続いています。事前調査として行った平成23年度から今回実施した30年度までの実施率を見てみると、柔道は60→67％、剣道は30→37％、相撲は3％前後で推移しており、大きな変化は見られません。銃剣道については29年度まで行われていましたが、30年度の実施はありませんでした。

⑤複数種目実施校

複数種目の実施校は、平成29年度の436校に比較し30年度は542校と106校の増と増加傾向にあります。

⑥複数種目実施内訳

複数種目の実施種目を見てみると、柔道、剣道、相撲3種目の組合

せが全体の約75％を占めています。少数ではありますが、3種目の実施校が11校あります。

⑦複数種目実施校における各種目の実施率

複数種目実施校における各種目の実施率を29・30年度と比較すると、柔道・剣道がやや減少、他種目はやや増加しており、地域や学校の実態に応じた複数種目の実施が徐々に進んでいるという結果が得られました。

今年度からスポーツ庁の委託事業として、外部指導者を活用した複数種目モデル実践校の計画が全国9ブロック96校で進められており、今後多様な武道が中学校体育授業で実施されていくことが予想されます。

⑧年間武道授業時間数

年間授業時間数について、今回、新たに授業時間数の詳細について、調査を行いました。30年度の最大時間は16・1時間、最小時間は3・9時間、平均時間は8・7時間で、28年度と比較して大きな変化は見られません。中学校武道必修化が実施さ

れてから、授業時間の確保は大きな課題であり、29・30年度とも10時間以上実施している学校の割合が40％を超えており、全体の約80％の学校が8時間以上実施しているという結果が得られました。

⑨武道授業実施時期

今回新たに実施時期の調査を行いました。8月から12月が最も多く72・5％、次に1月から3月が20・1％、最も少ないのは4月から7月で7・4％という結果が得られました。

⑩指導体制

指導体制について、保健体育科教員のみで授業を行っている学校は、28年度が88・2％、29年度が85・1％、30年度が82・9％と減少傾向が見られます。授業協力者の活用、他教科教員（武道経験者）とTTで指導している学校の割合が28年度の11・8％から30年度は17・1％に増加しています。また、保健体育科教員のみで専門種目を指導している学校の割合が7・8％減少しているという結果が得られました。

⑪怪我について

前回同様、柔道・剣道において、怪我の発生件数が多種目に比べて多いわけですが、これは実施校が多いためです。また、回答には部活動における怪我も含まれているため、授業中に発生した怪我の件数は報告の数値よりも少ないと推測されます。

⑫怪我の内容

重篤な事故の報告は、前回に続き、今回もありませんでした。内訳は、挫傷・打撲が最も多く、骨折、捻挫が続いています。原因・状況については、柔道では、投げ技の練習の際、受け身がうまく取れずに骨折するケースが多く報告されています。剣道では、試合の際、転倒または接触して骨折するケースが報告されています。

⑬安全対策への取組

今回、新たに安全対策への取組について、調査を行いました。回答数の多い順に「指導体制・指導内容」「研修会等の実施」「施設・用具整備」「指導書・資料等活用」「安全指導の

徹底」「緊急時の連絡体制の整備」「外部指導者の活用」となりました。

▽「指導体制・指導内容」について
・「大外刈り」及び「立位での試合」は実施しないことを周知徹底している。

・指導教員が技術を磨くとともに、考えられる危険を理解しておく。
・男女共習にしているため、複数教員で授業を行うことができる。
・3人組で学習（2人が組んで1人が観察、アドバイス、安全確保）している。

・怪我防止にむけて、ジャージの着方や防具の紐の正しい結び方を指導している。
・試合形式を避け、礼儀作法などに重点を置き指導している。

▽「研修会等の実施」について
・武道を指導する教員の指導歴を調査し、指導歴がない教員や指導歴が浅い教員を対象に、指導者講習会への参加を促している。
・頭部外傷の研修を実施している。

ます。

▽「研修会等の実施」について

・柔道においては毎年、市教育委員会主催の実技講習会を夏休みに実施している。また、それ以外の種目についても日本武道館主催、あるいはスポーツ庁主催の研修会に市内中学校保健体育教諭1名を派遣し、実技講習会の講師としている。

・市独自の「中学校の授業における武道指導ガイドライン」の内容の周知徹底と課題の解決及び保健体育科教員の指導力向上並びに指導方法の



・投げ込み用マットの導入（柔道実施校）を行っている。

・カーボン竹刀を使用している。
町で防具をレンタルし、安全で清潔な防具を使用している。
・アイガードの取り付けを実施している。

▽「指導書・資料等活用」について
・安全な武道指導を進めるための武道指導参考資料を作成している。
・校内で指導を統一するための指導DVDを作成している。
・「中学校の授業における武道指導ガイドライン」を各学校で活用し安全管理に努めている。

▽「安全指導の徹底」について
・各校で、事故が起こらないような指導の徹底と、事故が起こった場合の対応の仕方について確認し、事故が起きた際には教育委員会に報告するようにしている。
・過去に発生した武道指導中の事故事例をあげ、未然防止に努めている。

・独自に作成した指導計画において、柔道の授業での「受け身の習得」や「生徒のレベルに応じた指導」な

▽「指導の工夫」について

・男女共習をすることによって、女子生徒は「怖さ」が少なくなり、前向きに取り組むようになった。
・施設が充実しているわけではないので、自校でできる、できる限りの取り組みを心がけている。
・指導者自身が自らの知識や技量を上げること（動画や参考書から技術を高める研究）に努めている。
・空手（形）の授業が怪我なく生徒もやりがいを持つと思うが、なかなか教えるのは難しい。

▽「武道の特性を指導」について
・技術だけでなく、武道の精神や礼儀作法についても指導している。
・技を身につけ、試合をすること、剣道をすることに楽しさを感じさせるような授業への教材研究（ICT機器活用）をしている。

・日本独自の伝統文化である剣道に興味関心を持ち、剣道の歴史やその意義・特性を理解させる指導をしている。
・真剣に取り組む、自身の内面を高めるように働きかける指導をしている。

ど安全面に十分配慮するように示している。

▽「緊急時の連絡体制の整備」について

・事故が発生した場合の応急処置や緊急連絡体制などの対処方法について共通理解の徹底を図っている。
・頭頸部外傷事故発生時の対応フローチャートを作成し、緊急対応の徹底を図っている。

▽「外部指導者の活用」について
・国の委託事業（武道等指導充実・資質向上支援事業）の活用により、地域の専門性を有する指導者（授業協力者）を課題のある中学校へ派遣している。

⑭必修化に関する取組

必修化に関する取組について、回答数の多かったものは、「研修会等の実施」「外部指導者の活用」「指導内容の工夫」「指導書の作成・活用」の順でした。前回調査と大きな変化は見られませんが、「指導内容の工夫」「武道の特性を指導」などについて取り組んでいる学校が増えている。

▽その他

・柔道指導に困っている初任者のいる学校に対し、柔道指導支援チーム員による訪問指導を行っている。
・学校体育調査（武道についてや柔道実施状況調査等を毎年行い、武道の実施状況を把握している。

⑮指導書の活用について

今回初めて指導書の活用について、調査を行いました。指導書を活用している学校は全体の73・5％と非常に高い数字となっており、活用している指導書については、都道府県または市教育委員会作成の指導書が最も多く49・1％、日本武道協議会刊行『中学校武道必修化指導書』が17・4％、武道連盟作成の指導書が10・6％の順でした。

⑯中学校武道必修化実施による生徒に見られた変化

回答数が最も多かった内容は、「礼儀・礼節に関する意識が高まった」で全体の30％、「武道は礼に始まり、礼に終わる」の実践指導はこれから

が本番です。次が「相手を尊重する考えを持つようになった」、「武道への興味・関心が高まった」、「日常の態度に変化がみられた」の順で、その他、「武道に対するイメージが変わった」という回答も複数得られました。

▽「礼儀・礼節」について

・武道ならではの礼儀・作法の理解、伝統文化への意識の高まりがある。

・授業前の正座をしての黙想、かかり稽古や試合前の挨拶等、学年が進むにつれて男女を問わず礼節を重んずる生徒が増えた。

・柔道の時間に限らず、授業者や授業をする場への礼儀や礼節が高まった。

・礼儀作法の指導から、人としての常識を身につけ、精神的な変化にはプラス傾向はあるが、運動量の減少が大きいため落ち着かない生徒の様子も見られる。

・礼節を重んじた指導を行った結果、学校生活の中で体育館等への出入りの際に、一礼する姿が見られるようになった。

・武道の授業を通じ、他者に対しての関わり方や用具を丁寧に取り扱いなど、普段、意識していなかった「礼法」について、実生活と絡めて考える機会が持てたことで、日常の生活においても、これまでの「やらされている礼法」から意味のある「主体的な礼法」に変化していったように思う。

▽「相手を尊重する意識・態度」について

・日常生活において、相手の立場に立った言動が徐々にみられるようになっていく。

・剣道では、やみくもに竹刀を振り回すのではなく、相手の事を考えて打突できるようになった。

・相手を投げる動作を通して、思いやる気持ち（怪我をさせない）が育った

・相手の痛みに対して敏感になった。

▽「武道に対する興味・関心」について

・オリンピック等、テレビで柔道を見るようになり、武道への関心が高

まった。

・剣道に興味・関心を持ち、意欲的に取り組む生徒が増えた。特に、リズム剣道については、女子の学習意欲を高めるために効果的だった。

・実施種目以外の武道への関心が高まった。

・全生徒が武道に取り組むことをきっかけとして、課題探究的な学習の充実がより図られた。それにより、武道に興味・関心をもち、「する・みる・支える・知る」などの多様な関わり方や楽しみ方をする生徒が増えたとの声を多く聞いている。

▽「日常生活の態度向上」について

・黙想の経験により、心を落ち着かす経験をすることができた。また、授業や集会の開始時に黙想を取り入れることで、メリハリをつけることができた。

・友だちや仲間と組んで、投げたり、抑え込んだり、打ち合ったりすることにより、お互いの距離感が近くなり、仲よく学習する姿が見られるようになった。

・普段大人しい生徒も積極的に行動できることが増えた。

▽その他

・必修化の前は、女子生徒の多くが武道授業を受けておらず、心配があったが、必修化後は女子生徒が積極的に武道授業に取り組む姿が多く見られた。

・武道が楽しいと感じる生徒が増えた。

・経験することで、武道に対しての「怖い」という先入観が軽減され、「楽

しい」という前向きな捉え方をする生徒が増えた。

・柔道では、受け身から学習を始めるが、他に負ける練習から行うスポーツはないため、生徒にとっては新鮮であり、受け身等の基礎練習を大切にする姿が多く見られた。

・伝統的な武道の考え方を理解し、相手を敬って練習や試合をすることができた。特に女子は武道必修化により、この経験を積むことができた。

・授業協力者が配置されている学校では、生徒たちの技能の向上だけでなく、生徒の授業に対する満足度も

高くなっている。

・生徒に変化はあるが、武道の必修化による変化とは限定できない。その他の学校教育活動全てが、関係して生徒への変化となっている。

・世界に数あるスポーツの中に、日本発祥のスポーツがあることの誇りを感じる。

・武道に対して、ネガティブな印象だった生徒が「楽しい」と感じている。

・テレビで柔道の試合を見て、試合の判定がおかしかったなど、興味を持つとともに、理解したうえで試合内容を解説できるようになった。

⑰課題・将来展望

施設用具に関するものが22・3%と最も多く、以下、指導内容、指導体制、安全対策等についての順で回答が得られました。

▽「施設用具」について

・武道場の設置校が少なく、施設・設備が整っていない。
・市より生徒の人数分の防具をレンタルされているので、運動量が確保されてよい。

・畳が敷ける武道場がなく、現在は体育館でウレタンマットを使用し柔道の授業を行っており、畳が使える武道場等の設置が望まれる。
・学習指導要領に示された3つの種目（柔道・剣道・相撲）を選択しようとしても、施設面・予算面の問題からできる種目が限られてしまう。
・費用面で、用具の準備が容易なのが柔道であり、多くの学校で柔道が取り組まれている。

・用具をそろえたとしても、衛生面などの課題は残る。
・防具の手入れについて、専門業者に防具の安全点検を年1回お願いしたい。

・柔道以外の種目の実施率が低いのは、教員の指導力不足や環境（体育施設・設備、用具等の不足）が要因となっているのではないかと考えられる。各学校で実施種目数を増やし、生徒が選択できるようにするためには、教員の指導力向上が必要である。

・平成24年度に必修化された年には柔道実施校には畳を、剣道実施校には剣道具を配備したが、教職員の異動等で実施種目も変わってきてい

る。今後は、再調査を行い、適切に用具等の配備を行って参りたい。
・防具がないため、竹刀打ち程度しかできない。全員分防具があれば試合など様々な体験をすることができると考えられる。また、竹刀打ちは、受け方によっては危険も生じるので、十分に注意しながら行わなければならぬ。武道を続ける場合、用具を十分に揃えてもらいたい。

▽「指導内容・指導体制」について

・柔道、剣道以外の単元、特に「空手」について、履修する学校が増えていく可能性がある（会場の準備や生徒の「道衣」や「防具」の購入が必要ないため）。しかし、特別な理由がない場合は、履修することができないので、さらに10年後の学習指導要領改訂では、そこを緩和することが望まれる。安全のためにも接触のない空手を通して、学ぶことも可能にしたいだけと良い。

・専門的に競技してきた教員でないと技術指導に限界がある。
・試合まで授業展開したいが、授業時間数の都合もあり、なかなか実施できない。



・男女共習により、授業が柔らかな雰囲気になり、技能習得に時間を要する仲間への励ましやアドバイスが増えた。

・安全のために専門種目出身の指導者や複数指導体制が必要である。

・盲学校では、生徒一人ひとりの見え方に違いがあるため、まとめとしての試合では職員と試合をしている。これが生徒同士でできることがあればさらに意欲が向上するのではないかと思う。

・授業協力者をはじめとする外部人材・団体との連携は、市町村によって差が大きい。

・柔道の実施率が高いため、怪我も多くみられる傾向がある。教育委員会が剣道具を用意することで、剣道の実施率が上がり、大きな怪我も減少するのではないかと思う。しかし、剣道を指導できる保健体育科教員が少ないこともあり、剣道具を用意しても実施率が上がることも限らない。竹刀のみで剣道をする楽しさと喜びを味わわせることができる学習内容や指導方法が浸透すれば、剣道の実施率が上がり、武道での怪我や事故は減るのでないか。

・対人接触の多い武道は、今の風潮ではなかなか全員興味深く学習できるかといえ疑問である。逆に礼儀を徹底的に指導できる場として、武

道の授業を行うことが大切と考える。

・今は本校に柔道経験者の教諭がいるため、計画的にかつ安全に授業ができているが、いなくなった場合は大変心配である。

▽その他

・地域の特徴を生かした複数種目の実施について、現状を把握しながら可能性を探っていきたい。

・生徒が武道の特性や楽しさを実感し、武道の伝統的な考え方の理解をより深めるための複数種目による授業を推進する必要がある

・履修種目以外の武道種目をモデル校で体験させることとし、実践事例集に掲載した。

・武道団体や地域の指導者との連携を密にするとともに、地域の施設を有効に活用し、複数の武道種目を体験できる環境づくりを進める。

・さまざまな競技の初心者でも安全に楽しく行えるような指導マニュアルなどがあるとよい。

・学校により、設備に大きな差があり、それによって、学習内容に差が出てしまうことが気になる。

まとめ

※年度の記載のない文中の数字は、平成30年度の集計を基にしています。

■武道場設置状況

武道場設置校数の割合は、必修化初年度の平成24年度が50・5％、平成30年度が59・4％と上昇しています。ただし、少子化の影響で小規模校における武道場設置は進んでいません。なお、武道専用道場の設置を望む回答が多く見られました。武道場の数は、調査対象7056校のうち、5821館（複数の武道場含む）でした。武道場設置率は柔道場が33・9％、剣道場が30・7％、総合武道場等12・6％という回答が得られました。

■実施種目

実施率は柔道が64・5％、剣道が34・4％で、各武道の実施率は調査開始以来大きな変化は見られません。

ついた、武道への興味が高まったなど、全体的に、日常生活における態度の向上がみられたという肯定的な回答が多く寄せられました。

■課題・将来展望

施設用具に関する内容が最も多く、次に指導内容・指導体制について、安全対策などの課題が多く寄せられました。

（公財）日本武道館では、本アンケート調査結果を生かして、今後も文部科学省・スポーツ庁の支援・協力を得ながら武道統括9団体と協力し、全国指導者研修会、指導法研究事業、地域社会武道指導者研修会等を実施し、中学校武道必修化の充実に努めてまいります。また、月刊「武道」及び日本武道館ホームページの必修化関連情報も含めて、指導者の指導力向上とともに、生徒が主役の「安全で楽しく効果の上がる授業」の充実を目指して取り組んでいく所存です。関係者、関係団体の皆様方のより一層のご支援・ご協力をお願い申し上げ、アンケート調査結果の報告といたします。

■複数種目

複数種目実施率は、29年度5・8％、30年度6・4％であり、やや増加しています。今年度からスポーツ庁の委託事業として、外部指導者を活用した複数種目モデル実践校の事業が実施される予定であり、次回調査では、複数種目実施校が大幅に増えることが予想されます。

複数種目の実施内訳は、「柔道・剣道」が60％、「柔道・相撲」「剣道・相撲」の3つの組合せが全体の75％を占めており、空手道、なぎなたを複数種目として実施している学校が増えています。

■年間武道授業時間数・実施時期

年間最大時間は16・1時間、最小時間は3・9時間、平均時間は8・7時間であり、前回調査とほぼ同じ数値となっています。中学校武道必修化が実施されてから、授業時間の確保は大きな課題でしたが、年間10時間以上の学校が最も多く40・1％、8時間以上の学校は全体の約80％という回答を得ています。

実施時期は8月から12月が最も多

く72・5％、次に1月から3月、4月から7月の順でした。

■指導体制

28年度は保健体育科教員のみで授業を行う比率が88・2％、29年度は85・1％、30年度は82・8％と年々減少しており、授業協力者等を活用している学校が増えています。武道を専門とする保健体育科教員が授業を行っている割合は29・5％、武道専門以外の保健体育科教員のみで行っている割合は30・9％という回答で、ほぼ拮抗しています。

■怪我

怪我の発生割合は、柔道は前回調査とほぼ同じ数値となり、剣道、相撲については減少傾向にあります。柔道授業での怪我の発生状況は、受け身がうまくとれずに負傷する報告、剣道では転倒、接触により負傷するケースが報告されていますが、重篤な事故等の回答はありませんでした。

■安全対策

今回新たに、安全対策に対する取

■指導書

今回初めて、指導書に関する調査を行いました。指導書を活用している学校は73・5％と非常に高い数字となっており、教育委員会作成の指導書が49・1％、日本武道協議会「中学校武道必修化指導書」が17・4％、武道連盟作成の指導書が10・6％という回答が得られました。

■中学校武道必修化実施による生徒に見られた変化

特に多くみられた回答は、礼儀礼節に対する意識・態度の高まりで、続いて、相手を尊重する考えが身に



⑥複数種目実施内訳 ※複数種目実施校に対する割合

29 年度複数種目実施校 436 校			30 年度複数種目実施校 542 校		
実施種目	実施校数	実施率	実施種目	実施校数	実施率
柔道・剣道	287 校	65.8%	柔道・剣道	325 校	60.0%
柔道・相撲	28 校	6.4%	剣道・相撲	41 校	7.6%
柔道・なぎなた	26 校	6.0%	柔道・相撲	37 校	6.8%
剣道・相撲	18 校	4.1%	柔道・なぎなた	32 校	5.9%
柔道・空手道	15 校	3.4%	柔道・空手道	23 校	4.2%
柔道・合気道	9 校	2.1%	柔道・合気道	11 校	2.0%
剣道・空手道	9 校	2.1%	柔道・剣道・相撲	9 校	1.7%
柔道・剣道・相撲	4 校	0.9%	相撲・空手道	8 校	1.5%
剣道・なぎなた	3 校	0.7%	剣道・空手道	4 校	0.7%
柔道・少林寺拳法	2 校	0.5%	剣道・なぎなた	4 校	0.7%
剣道・弓道	2 校	0.5%	柔道・少林寺拳法	3 校	0.6%
剣道・少林寺拳法	2 校	0.5%	柔道・弓道	2 校	0.4%
相撲・沖縄角力	2 校	0.5%	柔道・剣道・なぎなた	2 校	0.4%
柔道・剣道・なぎなた	1 校	0.2%	剣道・弓道	2 校	0.4%
柔道・居合道	1 校	0.2%	剣道・少林寺拳法	2 校	0.4%
剣道・合気道	1 校	0.2%	剣道・合気道	1 校	0.4%
剣道・銃剣道	1 校	0.2%	相撲・合気道	1 校	0.4%
相撲・合気道	1 校	0.2%			

⑦複数種目実施校における各種目の実施率
※複数種目実施校に対する割合

	29 年度		30 年度	
	実施校	実施率	実施校	実施率
柔道	373 校	85.6%	444 校	81.9%
剣道	327 校	75.0%	390 校	72.0%
弓道	2 校	0.5%	4 校	0.7%
相撲	53 校	12.2%	88 校	16.2%
空手道	24 校	5.5%	35 校	6.5%
合気道	10 校	2.3%	13 校	2.4%
少林寺拳法	4 校	0.9%	5 校	0.9%
なぎなた	30 校	6.9%	38 校	7.0%
銃剣道	1 校	0.2%	0 校	-

⑧年間武道授業時間数（重複回答含む）
※回答学校数に対する割合

	28 年度	29 年度	30 年度
最大	16.2 時間	15.6 時間	16.1 時間
最小	4.5 時間	4.4 時間	3.9 時間
平均	8.7 時間	8.9 時間	8.7 時間

	29 年度		30 年度	
	学校数	割合	学校数	割合
年間授業時間				
～3 時間	154 校	2.3%	238 校	2.4%
4 時間	76 校	1.1%	106 校	1.1%
5 時間	213 校	3.2%	331 校	3.4%
6 時間	678 校	10.1%	1,090 校	11.2%
7 時間	422 校	6.3%	566 校	5.8%
8 時間	1,772 校	26.3%	2,653 校	27.2%
9 時間	639 校	9.5%	863 校	8.8%
10時間～	2,774 校	41.2%	3,912 校	40.1%
合計	6,728 校		9,759 校	

①武道場設置校数

	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
調査対象校数	10,472 校	9,101 校	—	7,368 校	7,541 校	7,530 校	7,346 校
武道場設置校数	5,287 校	4,790 校	—	4,207 校	4,382 校	4,425 校	4,364 校
	50.5%	52.6%	—	57.1%	58.1%	58.8%	59.4%

※調査対象校数が減少しているのは、武道場設置数を把握していない都道府県があるためです。調査対象校数の増減にかかわらず、武道場設置比率は必修化初年度以降、50%台で推移しています。

②武道場設置数（1校複数の武道場ありの回答含む）

	29 年度		30 年度	
調査対象校数	7,174 校		7,056 校	
武道場設置数	6,279 館	87.5%	5,821 館	82.5%

③武道場内訳（1校複数の武道場ありの回答含む）※調査対象校に対する各武道場設置数の割合

	29 年度		30 年度	
	設置数	設置率	設置数	設置率
柔道場	2,671 館	37.2%	2,393 館	33.9%
剣道場	2,386 館	33.3%	2,164 館	30.7%
弓道場	103 館	1.4%	158 館	2.2%
相撲場	94 館	1.3%	98 館	1.4%
その他 （総合武道場等）	1,025 館	14.3%	1,008 館	14.3%
合計	6,279 館	87.5%	5,821 館	82.5%

※1校で複数の武道場を持つ中学校があるため道場数の設置率は高くなっています。

④実施種目（重複回答含む）※回答学校数に対する割合

	平成 28 年度 対象：9,868 校※1		平成 29 年度 対象：9,070 校		平成 30 年度 対象：9,471 校	
柔道	6,388 校	64.7%	5,854 校	64.5%	6,105 校	64.5%
剣道	3,029 校	35.5%	2,900 校	32.0%	3,256 校	34.4%
弓道	18 校	0.2%	12 校	0.1%	16 校	0.2%
相撲	302 校	3.5%	260 校	2.9%	311 校	3.3%
空手道	182 校	2.1%	189 校	2.1%	218 校	2.3%
合気道	23 校	0.3%	27 校	0.3%	28 校	0.3%
少林寺拳法	9 校	0.1%	13 校	0.1%	16 校	0.2%
なぎなた	53 校	0.6%	50 校	0.6%	65 校	0.7%
銃剣道	1 校	0.01%	1 校	0.01%	0 校	-
その他※2	19 校		18 校		15 校	

※1 柔道以外の調査対象は 8,522 校 ※2 その他は古武道、居合道、杖道、沖縄角力等

⑤複数種目実施校 ※調査対象校に対する複数種目実施校の割合

	29 年度	30 年度
複数種目実施校	436 校	542 校
複数種目実施率※	5.8%	6.4%

⑬安全対策への取組 ※全回答数に対する割合

	内容	件数	割合
1	指導体制・指導内容	59 件	27.7%
2	研修会等の実施	56 件	26.3%
3	施設・用具整備	35 件	16.4%
4	指導書・資料等作成・活用	25 件	11.7%
5	安全指導の徹底	20 件	9.4%
6	緊急時の連絡体制整備	14 件	6.6%
7	外部指導者活用	4 件	1.9%
	合計	213 件	

⑭必修化に関する取組 ※全回答数に対する割合

	内容	件数	割合
1	研修会等の実施	52 件	39.1%
2	外部指導者の活用	23 件	17.3%
3	指導内容の工夫	18 件	13.5%
4	指導書の作成・活用	17 件	12.8%
5	武道の特性を指導	9 件	6.8%
6	その他	14 件	3.8%
	合計	133 件	

⑨武道授業実施時期（重複回答含む） ※回答学校数に対する割合

	29 年度		30 年度	
実施時期	学校数	割合	学校数	割合
4 月～7 月	444 校	6.4%	613 校	7.4%
8 月～12 月	5,012 校	72.8%	6,013 校	72.5%
1 月～3 月	1,432 校	20.8%	1,671 校	20.1%
合計	6,888 校		8,297 校	

⑩指導体制 ※回答学校数に対する割合

	28 年度		29 年度		30 年度	
指導体制	学校数	割合	学校数	割合	学校数	割合
保健体育科教員のみ（専門種目・専門種目以外）	6,828 校	88.2%	859 校	15.3%	1,557 校	23.9%
保健体育科教員のみ（専門種目）			2,022 校	35.9%	1,828 校	28.1%
保健体育科教員のみ（専門種目以外）			1,907 校	33.9%	2,013 校	30.9%
授業協力者活用	883 校	11.4%	700 校	12.4%	883 校	13.6%
他教科教員と TT	31 校	0.4%	142 校	2.5%	230 校	3.5%
合計	7,742 校		5,630 校		6,511 校	

⑮-1 指導書の活用について ※調査対象校に対する学校数の割合

	30 年度	
	学校数	割合
指導書を活用している	2,559 校	73.5%
調査対象校	3,481 校	

⑮-2 活用している指導書の活用について（重複回答含む） ※指導書を活用している学校数に対する割合

	30 年度	
	学校数	割合
教育委員会作成の指導書	1,256 校	49.1%
日本武道協議会『中学校武道必修化指導書』	444 校	17.4%
武道連盟作成の指導書	272 校	10.6%
その他（文科省作成の指導書、保健体育教材等）	863 校	33.7%

⑯中学校武道必修化実施による生徒に見られた変化 ※全回答数に対する割合

	内容	件数	割合
1	礼儀・礼節の高まり	36 件	30.3%
2	相手を尊重する意識・態度	15 件	12.6%
3	武道への興味・関心	13 件	10.9%
4	日常生活の態度向上	12 件	10.1%
5	その他	43 件	36.1%
		119 件	

⑰課題・将来展望 ※全回答数に対する割合

	内容	件数	割合
1	施設用具	37 件	22.3%
2	指導内容	35 件	21.1%
3	指導体制	33 件	19.9%
4	安全対策	17 件	10.2%
5	外部指導者	16 件	9.6%
6	研修会	16 件	9.6%
7	その他	12 件	7.2%
	合計	166 件	

⑪怪我について ※授業実施校に対する 1 校における発生件数

	発生割合		発生件数	授業実施校
	28 年度	30 年度	30 年度	30 年度
柔道	0.32 件	0.32 件	1,941 件	6,105 校
剣道	0.16 件	0.07 件	231 件	3,256 校
弓道	0.06 件	0 件	0 件	16 校
相撲	0.19 件	0.12 件	36 件	311 校
空手道	0.13 件	0 件	1 件	218 校
合気道	0 件	0 件	0 件	28 校
少林寺拳法	0 件	0 件	0 件	16 校
なぎなた	0.12 件	0 件	0 件	65 校
銃剣道	0 件	0 件	0 件	0 校
合計		0.22 件	2,209 件	10,015 校

⑫怪我の内容

	柔道	剣道	相撲	空手道	合計
挫傷・打撲	500 件	104 件	5 件	0 件	609 件
骨折	400 件	53 件	9 件	0 件	462 件
捻挫	303 件	16 件	0 件	0 件	319 件
その他	738 件	58 件	22 件	1 件	819 件
合計	1,941 件	231 件	36 件	1 件	2,209 件

※クラブ活動の怪我也含まれており、必修化授業の怪我の件数はこれより少ないものと見込まれます。

平成 29 年度中学校武道必修化

No	都道府県	全国公立 中学校数	調査対象 学校数	武道場 設置校数	武道場 設置率	武道場設置数 (重複回答含む)											
						合計	柔道場	剣道場	弓道場	相撲場	その他 (総合武道場等)	柔道		剣道		弓道	
1	北海道	495	494	49	9.9%	62	49	10	0	3	0	314	63.6%	139	28.1%	0	-
2	札幌市	100	100	85	85.0%	85	0	0	0	0	85	98	98.0%	2	2.0%	0	-
3	青森県	156	156	63	40.4%	63	-	-	-	-	63	125	80.1%	30	19.2%	-	-
4	岩手県	163	163	75	46.0%	-	-	-	-	-	-	153	93.9%	-	-	-	-
5	宮城県	135	129	68	52.7%	128	64	57	5	2	0	86	66.7%	43	33.3%	0	-
6	仙台市	64	64	64	100.0%	129	64	64	1	0	0	58	90.6%	10	15.6%	-	-
7	秋田県	132	116	69	59.5%	112	55	54	0	3	0	101	87.1%	7	6.0%	0	-
8	山形県	112	104	60	57.7%	113	60	51	0	2	0	95	91.3%	6	5.8%	-	-
9	福島県	218	218	66	30.3%	108	59	49	0	0	0	112	51.4%	102	46.8%	-	-
10	茨城県	222	222	184	82.9%	383	184	184	12	3	0	173	77.9%	56	25.2%	0	-
11	栃木県	172	171	121	70.8%	230	77	121	28	2	2	54	31.6%	109	63.7%	1	0.6%
12	群馬県	169	163	138	84.7%	258	131	127	0	0	0	152	93.3%	18	11.0%	0	-
13	埼玉県	356	356	234	65.7%	236	21	30	2	1	182	285	80.1%	93	26.1%	1	0.3%
14	さいたま市	57	57	46	80.7%	94	47	47	0	0	0	33	57.9%	45	78.9%	-	-
15	千葉県	324	324	288	88.9%	426	212	210	4	0	0	199	61.4%	156	48.1%	-	-
16	千葉市	55	55	55	100.0%	71	55	16	0	0	0	55	100.0%	2	3.6%	-	-
17	東京都	670	670	-	-	-	-	-	-	-	-	517	77.2%	-	-	-	-
18	神奈川県	178	178	77	43.3%	77	75	1	1	0	0	138	77.5%	54	30.3%	0	-
19	川崎市	52	52	40	76.9%	79	40	39	0	0	0	48	92.3%	4	7.7%	-	-
20	横浜市	148	147	117	79.6%	232	116	116	0	0	0	144	98.0%	5	3.4%	0	-
21	相模原市	37	36	31	86.1%	64	32	31	1	0	0	26	72.2%	10	27.8%	-	-
22	新潟県	235	235	130	55.3%	247	128	119	0	0	0	222	94.5%	20	8.5%	0	-
23	新潟市	56	56	53	94.6%	53	52	1	0	0	0	54	96.4%	3	5.4%	0	-
24	富山県	79	79	74	93.7%	138	65	62	1	5	5	65	82.3%	19	24.1%	0	-
25	石川県	84	84	15	17.9%	15	8	0	2	5	0	71	84.5%	12	14.3%	0	-
26	福井県	75	75	-	-	-	-	-	-	-	-	34	45.3%	45	60.0%	-	-
27	山梨県	80	80	-	-	-	-	-	-	-	-	64	80.0%	11	13.8%	-	-
28	長野県	188	188	99	52.7%	188	93	94	1	0	0	43	22.9%	153	81.4%	2	1.1%
29	岐阜県	180	180	112	62.2%	112	4	11	0	0	97	17	9.4%	157	87.2%	-	-
30	静岡県	242	192	111	57.8%	111	15	11	4	13	68	137	71.4%	37	19.3%	1	0.5%
31	静岡市	43	43	33	76.7%	60	32	27	1	0	0	41	95.3%	1	2.3%	-	-
32	浜松市	49	48	26	54.2%	-	-	-	-	-	-	21	43.8%	28	58.3%	0	-
33	愛知県	306	306	-	-	-	-	-	-	-	-	153	50.0%	191	62.4%	0	-
34	名古屋市	110	110	110	100.0%	110	-	-	-	-	110	4	3.6%	106	96.4%	-	-
35	三重県	172	155	77	49.7%	114	51	60	0	3	0	56	36.1%	87	56.1%	0	-
36	滋賀県	100	100	76	76.0%	76	10	2	0	2	62	66	66.0%	34	34.0%	-	-
37	京都府	96	96	50	52.1%	50	13	0	0	0	37	93	96.9%	4	4.2%	-	-
38	京都市	73	73	22	30.1%	22	0	0	0	1	21	67	91.8%	4	5.5%	-	-
39	大阪府	288	288	94	32.6%	94	58	31	0	0	5	156	54.2%	144	50.0%	0	-
40	大阪市	129	131	118	90.1%	119	6	1	0	1	111	118	90.1%	23	17.6%	0	-
41	堺市	43	43	7	16.3%	7	3	2	0	2	0	25	58.1%	18	41.9%	-	-
42	兵庫県	281	261	-	-	367	168	185	1	13	0	149	57.1%	124	47.5%	0	-
43	神戸市	85	82	48	58.5%	97	48	48	0	1	0	78	95.1%	8	9.8%	0	-
44	奈良県	101	101	101	100.0%	108	37	52	8	8	3	49	48.5%	46	45.5%	1	1.0%
45	和歌山県	123	123	44	35.8%	44	25	19	0	0	0	52	42.3%	57	46.3%	0	-
46	鳥取県	64	57	45	78.9%	45	6	2	9	1	27	44	77.2%	14	24.6%	-	-
47	島根県	111	111	66	59.5%	66	36	29	0	1	0	83	74.8%	16	14.4%	-	-
48	岡山県	117	116	108	93.1%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
49	岡山市	38	38	38	100.0%	72	35	37	0	0	0	24	9.0%	9	6.0%	0	-
50	広島県	243	172	-	-	-	-	-	-	-	-	76	44.2%	93	54.1%	-	-
51	広島市	64	64	36	56.3%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
52	山口県	148	147	-	-	-	-	-	-	-	-	127	86.4%	18	12.2%	0	-
53	徳島県	93	82	69	84.1%	69	26	37	4	2	0	18	22.0%	51	62.2%	0	-
54	香川県	76	76	56	73.7%	101	47	51	0	3	0	40	52.6%	43	56.6%	1	1.3%
55	愛媛県	130	130	-	-	107	27	20	0	10	50	63	48.5%	61	46.9%	1	0.8%
56	高知県	107	107	30	28.0%	43	15	22	3	3	0	18	16.8%	62	57.9%	0	-
57	福岡県	225	209	150	71.8%	273	138	129	6	0	0	139	66.5%	79	37.8%	2	1.0%
58	北九州市	62	62	62	100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
59	福岡市	69	69	68	98.6%	136	68	68	0	0	0	51	73.9%	21	30.4%	-	-
60	佐賀県	102	92	61	66.3%	61	26	30	1	4	0	26	28.3%	70	76.1%	0	-
61	長崎県	173	173	55	31.8%	-	-	-	-	-	-	146	84.4%	31	17.9%	0	-
62	熊本県	121	121	62	51.2%	62	-	-	-	-	62	77	63.6%	48	39.7%	0	-
63	熊本市	43	43	28	65.1%	55	26	28	1	0	0	19	44.2%	24	55.8%	0	-
64	大分県	121	121	54	44.6%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
65	宮崎県	129	129	45	34.9%	45	2	1	7	0	35	97	75.2%	33	25.6%	2	1.6%
66	鹿児島県	228	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
67	沖縄県	149	148	62	41.9%	62	62	0	0	0	0	5	3.4%	4	2.7%	0	-
	合計	9,846	9,371	4,425	58.8%	6,279	2,671	2,386	103	94	1,025	5,854	64.5%	2,900	32.0%	12	0.1%
							37.2%	33.3%	1.4%	1.3%	14.3%						

アンケート調査結果①

(令和元年 8 月 31 日現在)

実施種目の学校数（重複回答含む）及び実施率														複数種目実施校 及び実施率	
相撲		空手道		合気道		少林寺拳法		なぎなた		銃剣道		その他			
32	6.5%	13	2.6%	1	0.2%	1	0.2%	0	-	0	-	0		6	1.2%
0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0		2	2.0%
4	2.6%	2	1.3%	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-
1	0.8%	1	0.8%	0	-	2	1.6%	0	-	0	-	0		5	3.9%
-	-	4	6.3%	3	4.7%	-	-	-	-	-	-	-		6	9.4%
0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0		1	0.9%
1	1.0%	-	-	-	-	-	-	1	1.0%	-	-	1	居合道	2	1.9%
8	3.7%	1	0.5%	-	-	-	-	3	1.4%	-	-	-		-	-
1	0.5%	1	0.5%	4	1.8%	0	-	0	-	0	-	0		13	5.9%
0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	1	スポーツチャンバラ	6	3.5%
0	-	2	1.2%	0	-	0	-	1	0.6%	0	-	0		-	7
16	4.5%	1	0.3%	0	-	0	-	0	-	0	-	0		37	10.4%
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		22	38.6%
9	2.8%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		39	12.0%
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		2	3.6%
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-
5	2.8%	0	-	0	-	0	-	0	-	1	0.6%	0		17	9.6%
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		0	0.0%
0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0		2	1.4%
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	日本剣道形 柳生新陰流	0	0.0%
2	0.9%	5	2.1%	5	2.1%	0	-	5	2.1%	0	-	5		5	2.1%
0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-		1	1.8%
1	1.3%	0	-	0	-	0	-	1	1.3%	0	-	0		8	10.1%
1	1.2%	0	-	0	-	1	1.2%	0	-	0	-	0		1	1.2%
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		4	5.3%
6	7.5%	1	1.3%	-	-	-	-	1	1.3%	-	-	-		3	3.8%
4	2.1%	1	0.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-		15	8.0%
5	2.8%	-	-	-	-	-	-	1	0.6%	-	-	-		9	5.0%
5	2.6%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		2	1.0%
1	2.3%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		0	0.0%
0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0		1	2.1%
27	8.8%	0	-	3	1.0%	0	-	2	0.7%	0	-	0		-	-
-	-	-	-	1	0.9%	-	-	-	-	-	-	-		1	0.9%
21	13.5%	0	-	0	-	0	-	1	0.6%	0	-	0		9	5.8%
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		1	1.0%
-	-	-	-	2	2.1%	-	-	1	1.0%	-	-	-		4	4.2%
3	4.1%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		2	2.7%
3	1.0%	2	0.7%	0	-	0	-	0	-	0	-	0		19	6.6%
1	0.8%	0	-	0	-	1	0.8%	1	0.8%	0	-	1	未指導	15	11.5%
2	4.7%	-	-	-	-	-	-	1	2.3%	-	-	-		8	18.6%
2	0.8%	0	-	0	-	0	-	9	3.4%	0	-	0		23	8.8%
0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0		6	7.3%
9	8.9%	0	-	0	-	1	1.0%	0	-	0	-	0		5	5.0%
7	5.7%	1	0.8%	6	4.9%	3	2.4%	2	1.6%	0	-	0		4	3.3%
1	1.8%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		2	3.5%
-	-	-	-	-	-	1	0.9%	-	-	-	-	-		1	0.9%
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-
6	15.8%	0	-	0	-	0	-	1	2.6%	0	-	0		2	5.3%
4	2.3%	1	0.6%	-	-	-	-	-	-	-	-	4	杖道	6	3.5%
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-
5	3.4%	1	0.7%	0	-	0	-	2	1.4%	0	-	0		6	4.1%
20	24.4%	1	1.2%	1	1.2%	0	-	0	-	0	-	0		9	11.0%
2	2.6%	0	-	1	1.3%	3	3.9%	3	3.9%	0	-	0		5	6.6%
3	2.3%	2	1.5%	0	-	0	-	2	1.5%	0	-	0		2	1.5%
21	19.6%	0	-	0	-	0	-	2	1.9%	0	-	0		5	4.7%
11	5.3%	9	4.3%	0	-	0	-	1	0.5%	0	-	-		31	14.8%
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-
1	1.4%	7	10.1%	-	-	-	-	-	-	-	-	-		12	17.4%
3	3.3%	0	-	0	-	0	-	1	1.1%	0	-	0		10	10.9%
1	0.6%	0	-	0	-	0	-	7	4.0%	0	-	0		14	8.1%
0	-	3	2.5%	0	-	0	-	0	-	0	-	0		7	5.8%
1	2.3%	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-		1	2.3%
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-
2	1.6%	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0		5	3.9%
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-
2	1.4%	130	87.8%	0	-	0	-	1	0.7%	0	-	5	沖縄角力	5	3.4%
260	2.9%	189	2.1%	27	0.3%	13	0.1%	50	0.6%	1	0.01%	18		436	5.7%

平成 29 年度中学校武道必修化

No	都道府県	調査対象 学校数	年間武道授業時間数（重複回答含む）																年間実施時間数			
			3 時間以下		4 時間		5 時間		6 時間		7 時間		8 時間		9 時間		10 時間以上		平均	最大	最小	
1	北海道	494	0	-	2	0.4%	2	0.4%	54	10.9%	22	4.4%	159	32.1%	42	8.5%	215	43.3%	8.92	16	4	
2	札幌市	100	0	-	0	-	0	-	3	3.1%	1	1.0%	25	25.5%	2	2.0%	67	68.4%	9.6	15	6	
3	青森県	156	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
4	岩手県	163	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
5	宮城県	129	1	0.7%	2	1.5%	7	5.1%	24	17.6%	19	14.0%	44	32.4%	11	8.1%	28	20.6%	6.95	12	3	
6	仙台市	64	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
7	秋田県	116	0	-	0	-	0	-	6	4.0%	4	2.6%	32	21.2%	19	12.6%	90	59.6%	9.89	22	6	
8	山形県	104	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
9	福島県	218	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
10	茨城県	222	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
11	栃木県	171	2	1.1%	2	1.1%	4	2.2%	13	7.0%	11	5.9%	55	29.6%	22	11.8%	77	41.4%	8.6	10	3	
12	群馬県	163	0	-	1	0.5%	4	2.0%	23	11.4%	18	9.0%	56	27.9%	21	10.4%	78	38.8%	8.7	20	4	
13	埼玉県	356	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
14	さいたま市	57	-	-	-	-	-	-	4	6.9%	7	12.1%	17	29.3%	4	6.9%	26	44.8%	9	12	6	
15	千葉県	324	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
16	千葉県	55	0	-	0	-	0	-	1	1.8%	0	-	6	10.9%	9	16.4%	39	70.9%	10.1	15	6	
17	東京都	670	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
18	神奈川県	178	0	-	0	-	30	16.5%	10	5.5%	14	7.7%	56	30.8%	11	6.0%	61	33.5%	8.2	17	5	
19	川崎市	52	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	
20	横浜市	147	0	-	0	-	0	-	6	1.7%	11	3.2%	60	17.4%	35	10.2%	232	67.4%	10.3	17	6	
21	相模原市	36	39	43.8%	0	-	4	4.5%	4	4.5%	0	-	22	24.7%	5	5.6%	15	16.9%	6	14	0	
22	新潟県	235	0	-	1	0.6%	3	1.8%	29	17.3%	18	10.7%	68	40.5%	10	6.0%	39	23.2%	7.6	16	4	
23	新潟市	56	0	-	0	-	3	5.1%	7	11.9%	3	5.1%	25	42.4%	2	3.4%	19	32.2%	9	12	5	
24	富山県	79	0	-	0	-	1	0.8%	6	5.0%	8	6.6%	22	18.2%	25	20.7%	59	48.8%	-	-	5	
25	石川県	84	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
26	福井県	75	0	-	0	-	2	2.7%	7	9.3%	11	14.7%	52	69.3%	3	4.0%	0	-	7.4	9	5	
27	山梨県	80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
28	長野県	188	0	-	1	0.2%	8	1.8%	36	8.1%	38	8.6%	125	28.2%	10	2.3%	225	50.8%	9.1	17	4	
29	岐阜県	180	-	-	-	-	-	-	10	5.6%	4	2.2%	33	18.3%	19	10.6%	114	63.3%	9.8	15	6	
30	静岡県	192	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
31	静岡市	43	-	-	-	-	-	-	3	7.0%	4	9.3%	7	16.3%	6	14.0%	23	53.5%	9	14	6	
32	浜松市	48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	12	6	
33	愛知県	306	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
34	名古屋市	110	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
35	三重県	155	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
36	滋賀県	100	0	-	4	1.6%	7	2.7%	34	13.3%	17	6.7%	58	22.7%	44	17.3%	91	35.7%	8.58	15	4	
37	京都府	96	中 1	0	-	0	-	2	2.1%	4	4.2%	2	2.1%	14	14.6%	16	16.7%	58	60.4%	9.8	14	5
			中 2	1	1.0%	1	1.0%	3	3.1%	3	3.1%	22	22.9%	17	17.7%	46	47.9%	9.2	15	0		
38	京都市	73	-	-	-	-	-	-	10	11.1%	5	5.6%	29	32.2%	8	8.9%	38	42.2%	9	15	6	
39	大阪府	288	17	5.1%	19	5.7%	26	7.8%	50	15.1%	38	11.4%	99	29.8%	24	7.2%	59	17.8%	8.7	17	3	
40	大阪市	131	1	0.6%	10	6.3%	16	10.1%	26	16.5%	14	8.9%	44	27.8%	21	13.3%	26	16.5%	-	13	0	
41	堺市	43	-	-	1	1.2%	1	1.2%	9	10.7%	7	8.3%	14	16.7%	9	10.7%	43	51.2%	9.2	12	4	
42	兵庫県	261	3	0.9%	4	1.2%	15	4.5%	43	12.9%	31	9.3%	126	37.8%	32	9.6%	79	23.7%	8	15	3	
43	神戸市	82	0	-	0	-	4	5.3%	15	20.0%	13	17.3%	20	26.7%	10	13.3%	10	13.3%	7	12	5	
44	奈良県	101	2	1.8%	5	4.4%	13	11.4%	27	23.7%	10	8.8%	32	28.1%	13	11.4%	12	10.5%	7.15	12	3	
45	和歌山県	123	4	2.7%	5	3.4%	9	6.1%	29	19.7%	15	10.2%	34	23.1%	19	12.9%	32	21.8%	9	12	7	
46	鳥取県	57	1	1.2%	0	-	1	1.2%	7	8.1%	7	8.1%	27	31.4%	10	11.6%	33	38.4%	9	18	3	
47	島根県	111	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
48	岡山県	116	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
49	岡山市	38	0	-	2	4.2%	2	4.2%	7	14.6%	3	6.3%	17	35.4%	7	14.6%	10	20.8%	8.14	15	4	
50	広島県	172	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
51	広島市	64	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
52	山口県	147	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
53	徳島県	82	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
54	香川県	76	1	1.4%	1	1.4%	6	8.1%	16	21.6%	2	2.7%	27	36.5%	4	5.4%	17	23.0%	7.8	20	0	
55	愛媛県	130	0	-	0	-	3	6.5%	10	21.7%	4	8.7%	13	28.3%	7	15.2%	9	19.6%	9.2	14	5	
56	高知県	107	0	-	1	1.0%	5	4.9%	15	14.6%	6	5.8%	39	37.9%	12	11.7%	25	24.3%	8.18	16	4	
57	福岡県	209	4	1.5%	9	3.4%	16	6.0%	53	19.9%	13	4.9%	75	28.1%	14	5.2%	83	31.1%	6.25	18	2	
58	北九州市	62	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
59	福岡市	69	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
60	佐賀県	92	0	-	1	0.7%	1	0.7%	8	5.5%	5	3.4%	14	9.7%	23	15.9%	93	64.1%	9.84	18	4	
61	長崎県	173	76	14.6%	0	-	3	0.6%	28	5.4%	16	3.1%	104	20.0%	30	5.8%	262	50.5%	9	24	5	
62	熊本県	121	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
63	熊本市	43	-	-	-	-	3	7.0%	5	11.6%	3	7.0%	9	20.9%	2	4.7%	21	48.8%	9	12	5	
64	大分県	121	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
65	宮崎県	129	0	-	0	-	3	0.9%	13	3.7%	11	3.2%	55	15.9%	38	11.0%	227	65.4%	10.1	18	5	
66	鹿児島県		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
67	沖縄県	148	2	1.1%	4	2.2%	6	3.2%	20	10.8%	4	2.2%	36	19.5%	20	10.8%	93	50.3%	9	18	3	
	合計	9,371	154	2.3%	76	1.1%	213	3.2%	678	10.1%	422	6.3%	1,772	26.3%	639	9.5%	2,774	41.2%	8.9	15.6	4.4	

アンケート調査結果②

(令和元年 8 月 31 日現在)

実施時期						指導体制								備考	
4 月～7 月		8 月～12 月		1 月～3 月		保体科教員のみ（専門）		保体科教員のみ（専門外）		授業協力者を活用		他教科教員と T T			
9	1.8%	389	78.7%	96	19.4%	171	34.6%	150	30.4%	172	34.8%	1	0.2%	学校独自の外部指導者 1 校	
0	0.0%	89	90.8%	9	9.2%	-	-	-	-	1	1.0%	-	-		
2	1.3%	110	86.6%	15	11.8%	-	-	-	-	5	3.2%	-	-		
2	1.2%	141	92.2%	10	6.5%	-	-	-	-	-	-	-	-		
7	5.4%	92	71.3%	30	23.3%	31	24.0%	83	64.3%	11	8.5%	4	3.1%		
0	0.0%	56	87.5%	8	12.5%	-	-	-	-	1	1.6%	-	-		
0	0.0%	114	99.1%	1	0.9%	14	12.1%	79	68.1%	13	11.2%	10	8.6%		
3	2.9%	95	91.3%	6	5.8%	22	18.3%	72	60.0%	13	10.8%	13	10.8%		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
-	-	-	-	-	-	210	87.1%	-	-	22	9.1%	9	3.7%		
9	5.1%	123	69.5%	45	25.4%	37	20.1%	110	59.8%	15	8.2%	22	12.0%		
10	6.1%	114	69.9%	39	23.9%	122	専門・専門外含む	74.8%	41	25.2%	-	-	-		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
1	1.8%	46	80.7%	10	17.5%	57	専門・専門外含む	100.0%	-	-	-	-	-		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
3	5.5%	48	87.3%	4	7.3%	-	-	-	-	8	14.5%	-	-		
13	2.5%	394	76.2%	110	21.3%	500	97.7%	-	-	12	2.3%	-	-		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	6.7%	-	-		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	21.2%	-	-		
144	13.6%	702	66.1%	216	20.3%	-	-	-	-	-	-	-	-		
12	33.3%	20	55.6%	4	11.1%	36	100.0%	-	-	-	-	-	-		
0	-	135	79.4%	35	20.6%	154	専門・専門外含む	71.63%	49	22.8%	12	5.6%	各種目ごとに外部指導者と市内中学校の保健体育科教員が配属される。複数種目実施校、年間武道授業時間数、実施時期、指導体制は、新潟市を除く。		
1	1.8%	47	83.9%	8	14.3%	12	21.4%	41	73.2%	3	5.4%	0		-	
8	7.1%	69	61.6%	35	31.3%	13	13.0%	72	72.0%	14	14.0%	1		1.0%	
4	4.8%	79	94.0%	1	1.2%	-	-	-	-	-	-	-		-	
3	4.0%	68	90.7%	4	5.3%	64	専門・専門外含む	85.3%	11	14.7%	0	-		-	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	
-	-	-	-	-	-	135	71.8%	53	28.2%	-	-	-		-	
23	12.8%	99	55.0%	58	32.2%	174	96.7%	-	-	6	3.3%	-		-	
36	13.7%	141	53.6%	86	32.7%	171	93.4%	7	3.8%	5	2.7%	-		-	
8	18.6%	25	58.1%	10	23.3%	2	4.7%	40	93.0%	1	2.3%	0		-	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	100.0%	-		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	9.7%	-	-		
1	1.0%	72	72.0%	27	27.0%	-	-	-	-	-	-	-	-		
4	5.7%	62	88.6%	4	5.7%	93	専門・専門外含む	96.9%	2	2.1%	1	1.0%	実施時期①＋② 13 校、②＋③ 12 校、①＋③ 1 校		
7	9.7%	59	81.9%	6	8.3%	73	100.0%	-	-	-	-	-		-	
30	9.9%	197	65.0%	76	25.1%	86	29.3%	161	54.8%	42	14.3%	5		1.7%	
4	2.3%	74	43.3%	93	54.4%	29	18.2%	119	74.8%	2	1.3%	9		5.7%	
7	14.6%	36	75.0%	5	10.4%	9	20.9%	34	79.1%	-	-	-		-	
25	8.2%	202	66.2%	78	25.6%	34	13.8%	194	78.9%	15	6.1%	3		1.2%	
4	4.8%	70	83.3%	10	11.9%	30	36.6%	52	63.4%	-	-	-		-	
15	12.8%	67	57.3%	35	29.9%	25	25.5%	68	69.4%	-	-	5		5.1%	
14	11.6%	81	66.9%	26	21.5%	121	専門・専門外含む	84.6%	22	15.4%	0	-		-	
0	-	56	98.2%	1	1.8%	4	7.0%	48	84.2%	5	8.8%	0		-	
4	4.0%	79	79.8%	16	16.2%	-	-	-	-	11	9.9%	-	-		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
2	5.3%	32	84.2%	4	10.5%	12	29.3%	25	61.0%	3	7.3%	1	2.4%		
4	5.3%	58	76.3%	14	18.4%	-	-	-	-	-	-	-	-		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	4.8%	-	-		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
-	-	79	96.3%	3	3.7%	3	3.7%	57	69.5%	22	26.8%	0	-		
-	-	-	-	-	-	-	-	54	76.1%	11	15.5%	6	8.5%		
4	3.1%	106	82.8%	18	14.1%	110	専門・専門外含む	85.9%	-	-	18	14.1%	-		
7	6.6%	65	61.3%	34	32.1%	15	14.9%	72	71.3%	11	10.9%	3	3.0%		
9	6.4%	88	62.4%	44	31.2%	138	専門・専門外含む	81.7%	31	18.3%	-	-	-		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
1	1.9%	17	32.7%	34	65.4%	50	48.5%	18	17.5%	35	34.0%	0	-		
2	2.1%	74	77.1%	20	20.8%	31	28.7%	60	55.6%	9	8.3%	8	7.4%		
0	-	172	100.0%	0	-	16	9.3%	143	83.1%	5	2.9%	8	4.7%		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
1	2.3%	17	39.5%	25	58.1%	19	44.2%	24	55.8%	0	-	0	-		
1	1.4%	53	72.6%	19	26.0%	-	-	-	-	-	-	-	-		
-	-	-	-	-	-	58	39.2%	71	48.0%	19	12.8%	0	-		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	4.7%	-	-		
444	6.4%	5,012	72.8%	1,432	20.8%	2,022	保体科教員のみ（専門・専門外含む）		33.9%	700	12.4%	142	2.5%		

平成 30 年度中学校武道必修化

No	都道府県	全国公立 中学校数	調査対象 学校数	武道場 設置校数	武道場 設置率	武道場設置数（重複回答含む）						柔道		剣道		弓道	
						合計	柔道場	剣道場	弓道場	相撲場	その他 （総合武道場等）						
1	北海道	483	482	55	11.4%	69	55	10	0	3	1	307	63.7%	136	28.2%	0	-
2	札幌市	100	100	87	87.0%	87	0	0	0	0	87	98	98.0%	2	2.0%	0	-
3	青森県	156	156	61	39.1%	61	-	-	-	-	61	128	82.1%	28	17.9%	-	-
4	岩手県	160	160	75	46.9%	-	-	-	-	-	-	150	93.8%	21	13.1%	3	1.9%
5	宮城県	135	129	68	52.7%	127	63	57	5	2	0	85	65.9%	45	34.9%	0	-
6	仙台市	65	65	65	100.0%	132	65	65	2	-	-	55	84.6%	10	15.4%	-	-
7	秋田県	129	128	68	53.1%	114	56	55	0	3	0	106	82.8%	9	7.0%	0	-
8	山形県	112	104	60	57.7%	113	60	51	-	2	-	96	92.3%	11	10.6%	-	-
9	福島県	218	218	68	31.2%	112	61	51	-	-	-	110	50.5%	102	46.8%	-	-
10	茨城県	222	222	187	84.2%	394	187	187	15	5	0	172	77.5%	50	22.5%	0	-
11	栃木県	172	171	121	70.8%	230	77	121	28	2	2	55	32.2%	110	64.3%	1	0.6%
12	群馬県	169	163	138	84.7%	258	131	127	0	0	0	150	92.0%	18	11.0%	1	0.6%
13	埼玉県	356	356	234	65.7%	236	22	28	2	0	184	286	80.3%	90	25.3%	1	0.3%
14	さいたま市	57	57	46	80.7%	94	47	47	-	-	-	34	59.6%	45	78.9%	-	-
15	千葉県	324	324	288	88.9%	-	-	-	-	-	-	195	60.2%	158	48.8%	-	-
16	千葉市	55	55	55	100.0%	71	55	16	-	-	-	55	100.0%	0	0.0%	0	-
17	東京都	669	669	-	-	-	-	-	-	-	-	527	78.8%	129	19.3%	1	0.1%
18	神奈川県	178	178	-	-	-	-	-	-	-	-	137	77.0%	51	28.7%	0	-
19	川崎市	52	52	40	76.9%	79	40	39	-	-	-	48	92.3%	4	7.7%	-	-
20	横浜市	148	147	117	79.6%	234	117	117	-	-	-	143	97.3%	5	3.4%	0	-
21	相模原市	37	36	31	86.1%	64	32	31	1	-	-	26	72.2%	10	27.8%	-	-
22	新潟県	235	235	130	55.3%	247	128	119	0	0	0	210	89.4%	30	12.8%	0	-
23	新潟市	56	56	53	94.6%	53	52	1	0	0	0	54	96.4%	3	5.4%	0	-
24	富山県	79	79	74	93.7%	138	65	62	1	5	5	65	82.3%	19	24.1%	0	-
25	石川県	84	84	15	17.9%	15	8	0	2	5	0	71	84.5%	12	14.3%	0	-
26	福井県	75	75	-	-	-	-	-	-	-	-	34	45.3%	45	60.0%	0	-
27	山梨県	80	80	-	-	79	38	37	3	1	-	58	72.5%	12	15.0%	-	-
28	長野県	188	187	-	-	-	-	-	-	-	-	40	21.4%	154	82.4%	2	1.1%
29	岐阜県	180	180	112	62.2%	112	4	11	-	-	97	17	9.4%	157	87.2%	-	-
30	静岡県	242	198	111	56.1%	111	15	11	4	13	68	138	69.7%	40	20.2%	1	0.5%
31	静岡市	43	43	33	76.7%	60	32	27	1	-	-	41	95.3%	1	2.3%	-	-
32	浜松市	49	48	26	54.2%	-	-	-	-	-	-	22	45.8%	27	56.3%	0	-
33	愛知県	307	307	-	-	-	-	-	-	-	-	153	49.8%	190	61.9%	0	-
34	名古屋市	110	110	110	100.0%	110	-	-	-	-	110	6	5.5%	106	96.4%	-	-
35	三重県	172	158	78	49.4%	106	54	49	0	3	0	59	37.3%	85	53.8%	-	-
36	滋賀県	100	100	76	76.0%	76	10	2	-	2	62	65	65.0%	34	34.0%	-	-
37	京都府	97	97	53	54.6%	53	12	11	-	-	30	92	94.8%	4	4.1%	-	-
38	京都市	73	73	22	30.1%	22	-	-	-	1	21	65	89.0%	4	5.5%	-	-
39	大阪府	287	287	94	32.8%	94	58	31	0	0	5	155	54.0%	145	50.5%	0	-
40	大阪市	129	131	118	90.1%	119	6	1	0	1	111	117	89.3%	24	18.3%	0	-
41	堺市	43	43	7	16.3%	7	3	2	-	2	-	28	65.1%	18	41.9%	-	-
42	兵庫県	281	261	-	-	367	168	185	1	13	0	149	57.1%	124	47.5%	0	-
43	神戸市	85	82	48	58.5%	97	48	48	0	1	0	78	95.1%	9	11.0%	0	-
44	奈良県	101	101	101	100.0%	108	37	51	8	9	3	49	48.5%	44	43.6%	1	1.0%
45	和歌山県	122	121	44	36.4%	44	25	19	0	0	0	49	40.5%	58	47.9%	0	-
46	鳥取県	64	57	45	78.9%	45	6	2	9	1	27	44	77.2%	14	24.6%	-	-
47	島根県	110	110	66	60.0%	66	36	29	-	1	-	83	75.5%	16	14.5%	-	-
48	岡山県	117	116	109	94.0%	-	-	-	-	-	-	54	46.6%	56	48.3%	1	0.9%
49	岡山市	38	38	38	100.0%	72	35	37	0	0	0	24	63.2%	9	23.7%	0	-
50	広島県	247	171	-	-	-	-	-	-	-	-	75	43.9%	94	55.0%	-	-
51	広島市	64	64	36	56.3%	36	-	-	-	-	36	33	51.6%	38	59.4%	-	-
52	山口県	147	146	65	44.5%	65	41	17	4	2	1	128	87.7%	21	14.4%	0	-
53	徳島県	93	82	76	92.7%	76	27	40	6	3	0	20	24.4%	49	59.8%	0	-
54	香川県	76	76	55	72.4%	100	46	51	0	3	0	41	53.9%	45	59.2%	0	-
55	愛媛県	130	130	-	-	-	-	-	-	-	-	57	43.8%	58	44.6%	0	-
56	高知県	107	107	30	28.0%	43	15	22	3	3	0	18	16.8%	64	59.8%	0	-
57	福岡県	225	209	-	-	-	-	-	-	-	-	130	62.2%	80	38.3%	2	1.0%
58	北九州市	62	62	62	100.0%	124	62	62	0	0	-	44	71.0%	16	25.8%	0	-
59	福岡市	69	69	68	98.6%	136	68	68	-	-	-	52	75.4%	20	29.0%	-	-
60	佐賀県	102	98	61	62.2%	61	26	30	1	4	0	23	23.5%	72	73.5%	0	-
61	長崎県	173	173	55	31.8%	-	-	-	-	-	-	145	83.8%	33	19.1%	0	-
62	熊本県	121	121	61	50.4%	61	-	-	-	-	61	75	62.0%	48	39.7%	0	-
63	熊本市	43	43	28	65.1%	55	26	28	1	-	-	19	44.2%	24	55.8%	-	-
64	大分県	121	121	54	44.6%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
65	宮崎県	129	129	45	34.9%	45	2	1	7	0	35	97	75.2%	34	26.4%	2	1.6%
66	鹿児島県	236	236	179	75.8%	281	110	108	54	8	1	162	68.6%	82	34.7%	0	-
67	沖縄県	149	147	62	42.2%	62	62	-	-	-	-	3	2.0%	4	2.7%	0	-
	合計	9,838	9,613	4,364	59.4%	5,821	2,393	2,164	158	98	1,008	6,105	64.5%	3,256	34.4%	16	0.2%
							33.9%	30.7%	2.2%	1.4%	14.3%						

アンケート調査結果①

(令和元年 8 月 31 日現在)

実施種目の学校数（重複回答含む）及び実施率															複数種目実施校 及び実施率	
相撲		空手道		合気道		少林寺拳法		なぎなた		銃剣道		その他				
32	6.6%	11	2.3%	1	0.2%	1	0.2%	0	-	0	-	0			6	1.2%
0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0			2	2.0%
5	3.2%	1	0.6%	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-	-
0	-	2	1.3%	0	-	0	-	5	3.1%	0	-	-			20	12.5%
1	0.8%	1	0.8%	0	-	2	1.6%	0	-	0	-	0			-	-
-	-	4	6.2%	2	3.1%	-	-	1	1.5%	-	-	-			6	9.2%
0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0			2	1.6%
2	1.9%	-	-	1	1.0%	-	-	1	1.0%	-	-	-			8	7.7%
7	3.2%	1	0.5%	-	-	-	-	3	1.4%	-	-	-			-	-
5	2.3%	4	1.8%	4	1.8%	0	-	0	-	0	-	0			22	9.9%
0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0			7	4.1%
0	-	2	1.2%	0	-	0	-	1	0.6%	0	-	0			9	5.5%
16	4.5%	2	0.6%	0	-	0	-	0	-	0	-	0			37	10.4%
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			21	36.8%
8	2.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			33	10.2%
0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-			0	0.0%
16	2.4%	10	1.5%	2	0.3%	0	-	2	0.3%	0	-	0			48	7.2%
5	2.8%	1	0.6%	0	-	0	-	0	-	0	-	0			13	7.3%
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			0	0.0%
0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0			1	0.7%
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	日本剣道形 柳生新陰流		0	0.0%
2	0.9%	7	3.0%	5	2.1%	0	-	5	2.1%	0	-	5			7	3.0%
0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-			1	1.8%
1	1.3%	0	-	0	-	0	-	1	1.3%	0	-	0			8	10.1%
1	1.2%	0	-	0	-	1	1.2%	0	-	0	-	0			1	1.2%
0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0			4	5.3%
8	10.0%	1	1.3%	-	-	-	-	-	-	-	-	-			4	5.0%
4	2.1%	1	0.5%	0	-	0	-	0	-	0	-	0			16	8.6%
5	2.8%	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-			-	-
4	2.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			4	2.0%
1	2.3%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			0	0.0%
0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0			1	2.1%
25	8.1%	0	-	4	1.3%	0	-	2	0.7%	0	-	0			-	-
1	0.9%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			2	1.8%
21	13.3%	-	-	0	-	-	-	1	0.6%	-	-	1	スポーツチャンバラ		12	7.6%
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			1	1.0%
-	-	-	-	1	1.0%	-	-	2	2.1%	-	-	-			3	3.1%
2	2.7%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			2	2.7%
6	2.1%	1	0.3%	0	-	0	-	0	-	0	-	0			19	6.6%
1	0.8%	0	-	0	-	2	1.5%	3	2.3%	0	-	0			15	11.5%
2	4.7%	-	-	-	-	-	-	2	4.7%	-	-	-			7	16.3%
3	1.1%	0	-	0	-	0	-	9	3.4%	0	-	0			27	10.3%
0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0			5	6.1%
7	6.9%	0	-	0	-	1	1.0%	0	-	0	-	0			2	2.0%
8	6.6%	0	-	6	5.0%	3	2.5%	2	1.7%	0	-	0			4	3.3%
1	1.8%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			1	1.8%
-	-	-	-	-	-	1	0.9%	-	-	-	-	-			2	1.8%
11	9.5%	3	2.6%	0	-	2	1.7%	1	0.9%	0	-	0			20	17.2%
6	15.8%	0	-	0	-	0	-	1	2.6%	0	-	0			2	5.3%
3	1.8%	1	0.6%	1	0.6%	-	-	-	-	-	-	4	杖術		7	4.1%
3	4.7%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			11	17.2%
5	3.4%	0	-	0	-	0	-	2	1.4%	0	-	0			10	6.8%
19	23.2%	1	1.2%	1	1.2%	0	-	1	1.2%	0	-	0			10	12.2%
2	2.6%	1	1.3%	0	-	2	2.6%	3	3.9%	0	-	0			6	7.9%
3	2.3%	1	0.8%	0	-	0	-	1	0.8%	0	-	0			2	1.5%
20	18.7%	3	2.8%	0	-	0	-	1	0.9%	0	-	0			4	3.7%
9	4.3%	12	5.7%	0	-	1	0.5%	1	0.5%	0	-	-			28	13.4%
1	1.6%	1	1.6%	0	-	0	-	0	-	0	-	0			0	0.0%
1	1.4%	8	11.6%	-	-	-	-	-	-	-	-	-			11	15.9%
6	6.1%	0	-	0	-	0	-	1	1.0%	0	-	0			9	9.2%
1	0.6%	0	-	0	-	0	-	7	4.0%	0	-	0			14	8.1%
1	0.8%	5	4.1%	0	-	0	-	0	-	0	-	0			8	6.6%
1	2.3%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			1	2.3%
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-	-
2	1.6%	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0			5	3.9%
12	5.1%	7	3.0%	0	-	0	-	4	1.7%	0	-	-			5	2.1%
5	3.4%	126	85.7%	0	-	0	-	1	0.7%	0	-	4	沖縄角力		6	4.1%
311	3.3%	218	2.3%	28	0.3%	16	0.2%	65	0.7%	0	-	15			542	6.4%

平成 30 年度中学校武道必修化

No	都道府県	調査対象 学校数	年間武道授業時間数（重複回答含む）															年間実施時間数				
			3 時間以下		4 時間		5 時間		6 時間		7 時間		8 時間		9 時間		10 時間以上		平均	最大	最小	
1	北海道	482	0	-	5	1.0%	12	2.5%	49	10.2%	19	3.9%	167	34.6%	32	6.6%	198	41.1%	8.78	16	4	
2	札幌市	100	0	-	0	-	0	-	4	3.9%	1	1.0%	22	21.6%	3	2.9%	72	70.6%	9.6	15	6	
3	青森県	156	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-		
4	岩手県	160	0	-	0	-	3	1.5%	8	4.0%	4	2.0%	48	24.0%	9	4.5%	128	64.0%	-	20	5	
5	宮城県	129	1	0.7%	1	0.7%	8	5.8%	26	18.7%	19	13.7%	44	31.7%	9	6.5%	31	22.3%	6.85	15	3	
6	仙台市	65	3	2.3%	5	3.8%	7	5.3%	27	20.3%	8	6.0%	52	39.1%	11	8.3%	20	15.0%	8.23	15	3	
7	秋田県	128	0	-	0	-	0	-	3	2.0%	5	3.3%	32	21.3%	16	10.7%	94	62.7%	10.26	22	6	
8	山形県	104	3	2.1%	4	2.8%	5	3.5%	19	13.3%	9	6.3%	47	32.9%	4	2.8%	52	36.4%	8	17	2	
9	福島県	218	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
10	茨城県	222	0	-	0	-	4	1.8%	15	6.8%	11	5.0%	61	27.5%	29	13.1%	102	45.9%	9.27	16	5	
11	栃木県	171	2	1.1%	2	1.1%	4	2.1%	11	5.9%	12	6.4%	54	28.7%	23	12.2%	80	42.6%	8.6	10	3	
12	群馬県	163	0	-	1	0.5%	7	3.4%	26	12.6%	8	3.9%	66	32.0%	20	9.7%	78	37.9%	8.9	16	4	
13	埼玉県	356	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
14	さいたま市	57	-	-	-	-	-	-	4	6.9%	7	12.1%	17	29.3%	4	6.9%	26	44.8%	9	12	6	
15	千葉県	324	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
16	千葉県	55	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	7	12.7%	7	12.7%	41	74.5%	10.5	15	6	
17	東京都	669	44	6.6%	3	0.4%	13	1.9%	84	12.6%	39	5.8%	207	30.9%	63	9.4%	216	32.3%	8	24	0	
18	神奈川県	178	0	-	0	-	1	0.8%	12	10.2%	9	7.6%	44	37.3%	15	12.7%	37	31.4%	-	16	1	
19	川崎市	52	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	
20	横浜市	147	0	-	2	0.5%	1	0.2%	7	1.7%	8	2.0%	83	20.6%	31	7.7%	271	67.2%	9.9	16	4	
21	相模原市	36	39	44.3%	0	-	3	3.4%	4	4.5%	0	-	22	25.0%	5	5.7%	15	17.0%	6	14	0	
22	新潟県	235	0	-	1	0.6%	3	1.8%	29	17.3%	18	10.7%	68	40.5%	10	6.0%	39	23.2%	7.6	16	4	
23	新潟市	56	0	-	0	-	3	5.1%	7	11.9%	3	5.1%	25	42.4%	2	3.4%	19	32.2%	9	12	5	
24	富山県	79	0	-	0	-	0	-	8	6.7%	5	4.2%	27	22.7%	22	18.5%	57	47.9%	-	-	6	
25	石川県	84	0	-	0	-	0	-	7	8.3%	1	1.2%	13	15.5%	4	4.8%	59	70.2%	9.9	15	6	
26	福井県	75	0	-	0	-	2	2.7%	7	9.3%	11	14.7%	50	66.7%	3	4.0%	2	2.7%	7.5	12	5	
27	山梨県	80	0	-	2	1.0%	5	2.6%	24	12.4%	7	3.6%	50	25.9%	15	7.8%	90	46.6%	9	15	4	
28	長野県	187	3	0.7%	0	-	12	2.7%	18	4.1%	33	7.6%	134	30.7%	15	3.4%	222	50.8%	9.25	16	3	
29	岐阜県	180	-	-	-	-	-	-	10	5.6%	4	2.2%	33	18.3%	19	10.6%	114	63.3%	9.8	15	6	
30	静岡県	198	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
31	静岡市	43	-	-	-	-	-	-	1	2.3%	4	9.3%	8	18.6%	6	14.0%	24	55.8%	9	14	6	
32	浜松市	48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	12	6	
33	愛知県	307	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
34	名古屋市	110	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
35	三重県	158	6	3.6%	11	6.6%	14	8.4%	64	38.6%	7	4.2%	30	18.1%	12	7.2%	22	13.3%	6.7	15	3	
36	滋賀県	100	0	-	2	0.8%	13	5.2%	29	11.6%	21	8.4%	54	21.6%	39	15.6%	92	36.8%	8.39	15	4	
37	京都府	97	中 1	1	1.0%	0	0.0%	2	2.1%	3	3.1%	2	2.1%	16	16.5%	15	15.5%	58	59.8%	9.7	16	0
			中 2	1	1.0%	1	1.0%	5	5.2%	2	2.1%	2	2.1%	24	24.7%	21	21.6%	40	41.2%	9	15	0
38	京都市	73	-	-	2	2.4%	-	-	10	12.0%	2	2.4%	29	34.9%	6	7.2%	34	41.0%	8.8	16	4	
39	大阪府	287	18	5.3%	20	5.9%	28	8.3%	49	14.5%	42	12.4%	92	27.2%	26	7.7%	63	18.6%	8.9	17	3	
40	大阪市	131	1	0.6%	9	5.8%	18	11.5%	26	16.7%	15	9.6%	41	26.3%	20	12.8%	26	16.7%	-	14	0	
41	堺市	43	-	-	-	-	-	-	11	11.5%	4	4.2%	19	19.8%	7	7.3%	55	57.3%	9.4	12	6	
42	兵庫県	261	3	0.9%	2	0.6%	15	4.6%	36	11.1%	26	8.0%	123	38.1%	33	10.2%	85	26.3%	8	15	3	
43	神戸市	82	0	0.0%	2	2.6%	2	2.6%	14	18.2%	14	18.2%	19	24.7%	14	18.2%	12	15.6%	7.08	14	4	
44	奈良県	101	1	0.9%	5	4.4%	12	10.6%	29	25.7%	11	9.7%	31	27.4%	12	10.6%	12	10.6%	7.16	12	3	
45	和歌山県	121	4	2.7%	5	3.4%	9	6.1%	29	19.7%	15	10.2%	34	23.1%	19	12.9%	32	21.8%	9	13	6	
46	鳥取県	57	1	1.2%	0	-	1	1.2%	7	8.1%	7	8.1%	27	31.4%	10	11.6%	33	38.4%	9	18	3	
47	島根県	110	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
48	岡山県	116	15	3.2%	0	-	31	6.7%	82	17.6%	26	5.6%	156	33.5%	28	6.0%	128	27.5%	5.6	14	1	
49	岡山市	38	1	2.1%	1	2.1%	2	4.2%	8	16.7%	3	6.3%	16	33.3%	7	14.6%	10	20.8%	8.03	15	1	
50	広島県	171	1	0.4%	3	1.3%	16	7.1%	41	18.2%	26	11.6%	61	27.1%	13	5.8%	64	28.4%	8	18	3	
51	広島市	64	0	0.0%	0	-	4	3.2%	20	16.0%	7	5.6%	40	32.0%	8	6.4%	46	36.8%	8.45	16	5	
52	山口県	146	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
53	徳島県	82	7	8.8%	4	5.0%	10	12.5%	20	25.0%	8	10.0%	17	21.3%	5	6.3%	9	11.3%	6.8	16	2	
54	香川県	76	2	2.6%	1	1.3%	11	14.1%	17	21.8%	2	2.6%	27	34.6%	2	2.6%	16	20.5%	7.5	20	0	
55	愛媛県	130	0	-	0	-	3	6.5%	10	21.7%	4	8.7%	13	28.3%	7	15.2%	9	19.6%	9.2	14	5	
56	高知県	107	1	1.0%	0	-	5	4.9%	13	12.6%	5	4.9%	40	38.8%	12	11.7%	27	26.2%	8.05	16	3	
57	福岡県	209	0	-	6	2.4%	14	5.5%	54	21.3%	16	6.3%	58	22.9%	25	9.9%	80	31.6%	6.84	24	4	
58	北九州市	62	1	1.6%	0	-	5	8.1%	14	22.6%	6	9.7%	19	30.6%	4	6.5%	13	21.0%	7.46	15	3	
59	福岡市	69	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
60	佐賀県	98	0	-	0	-	0	-	9	8.5%	2	1.9%	14	13.2%	14	13.2%	67	63.2%	10.5	18	6	
61	長崎県	173	76	14.6%	0	-	3	0.6%	28	5.4%	16	3.1%	104	20.0%	30	5.8%	262	50.5%	9	24	5	
62	熊本県	121	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	
63	熊本市	43	-	-	-	-	3	7.0%	5	11.6%	3	7.0%	9	20.9%	2	4.7%	21	48.8%	9	12	5	
64	大分県	121	3	2.5%	1	0.8%	4	3.3%	10	8.2%	3	2.5%	39	32.0%	9	7.4%	53	43.4%	-	-	-	
65	宮崎県	129	0	-	0	-	3	0.9%	13	3.7%	11	3.2%	55	15.8%	38	10.9%	228	65.5%	10.1	18	5	
66	鹿児島県	236	0	-	0	-	2	0.9%	7	3.2%	6	2.7%	35	15.8%	30	13.6%	141	63.8%	10.2	18	5	
67	沖縄県	147	0	-	5	2.9%	3	1.7%	20	11.6%	9	5.2%	30	17.4%	18	10.5%	87	50.6%	9	16	4	
	合計	9,613	238	2.4%	106	1.1%	331	3.4%	1,090	11.2%	566	5.8%	2,653	27.2%	863	8.8%	3,912	40.1%	8.7	16.1	3.9	

アンケート調査結果②

(令和元年 8 月 31 日現在)

実施時期（重複回答含む）						指導体制						備考	
4 月～ 7 月	8 月～ 12 月	1 月～ 3 月	保体科教員のみ（専門）		保体科教員のみ（専門外）		授業協力者を活用		他教科教員と T T				
7	1.5%	385	79.9%	90	18.7%	176	36.5%	138	28.6%	166	34.4%	2	0.4%
0	0.0%	93	94.9%	5	5.1%	-	-	-	-	1	1.0%	-	-
6	3.8%	127	81.4%	23	14.7%	-	-	-	-	3	1.9%	-	-
5	3.1%	147	91.9%	8	5.0%	132	専門・専門外含む	82.5%	18	11.3%	10	6.3%	
7	5.4%	92	71.3%	30	23.3%	28	21.7%	86	66.7%	10	7.8%	5	3.9%
3	4.6%	56	86.2%	6	9.2%	-	-	-	-	7	77.8%	2	22.2%
2	1.7%	114	98.3%	0	0.0%	13	10.9%	83	69.7%	11	9.2%	12	10.1%
3	2.9%	95	91.3%	6	5.8%	22	18.3%	72	60.0%	13	10.8%	13	10.8%
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
92	41.4%	129	58.1%	1	0.5%	212	88.0%	-	-	21	8.7%	8	3.3%
10	5.6%	121	68.4%	46	26.0%	38	20.7%	111	60.3%	14	7.6%	21	11.4%
7	4.3%	118	72.4%	38	23.3%	126	専門・専門外含む	77.3%	37	22.7%	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	1.8%	46	80.7%	10	17.5%	57	専門・専門外含む	100.0%	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	5.5%	50	90.9%	2	3.6%	-	-	-	-	5	9.1%	-	-
31	4.9%	458	71.8%	149	23.4%	542	専門・専門外含む	80.4%	117	17.4%	15	2.2%	
19	11.0%	125	72.3%	29	16.8%	-	-	-	-	12	6.7%	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	19.2%	-	-
120	12.3%	652	66.6%	207	21.1%	-	-	-	-	-	-	-	-
123	33.3%	20	55.6%	4	11.1%	36	100.0%	-	-	-	-	-	-
0	-	135	79.4%	35	20.6%	154	専門・専門外含む	71.6%	49	22.8%	12	5.6%	各種目ごとに外部指導者と市内中学校の保健体育科教員が配属される。複数種目実施校、年間武道授業時間数、実施時期、指導体制は、新潟市を除く。
1	1.8%	47	83.9%	8	14.3%	12	21.4%	41	73.2%	3	5.4%	0	-
8	7.0%	73	63.5%	34	29.6%	10	10.1%	74	74.7%	15	15.2%	0	-
3	3.6%	78	92.9%	3	3.6%	-	-	-	-	-	-	-	-
3	4.0%	68	90.7%	4	5.3%	68	専門・専門外含む	90.7%	7	9.3%	0	-	-
12	15.0%	54	67.5%	14	17.5%	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	113	53.6%	74	35.1%	17	8.1%	7	3.3%
23	12.8%	99	55.0%	58	32.2%	174	96.7%	-	-	6	3.3%	-	-
36	13.5%	147	55.1%	84	31.5%	142	77.2%	37	20.1%	5	2.7%	-	-
7	16.3%	24	55.8%	12	27.9%	4	9.3%	39	90.7%	0	-	0	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4.2%
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	6.3%	117	74.1%	31	19.6%	-	-	-	-	13	8.2%	-	-
4	4.0%	76	76.0%	20	20.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
5	7.0%	61	85.9%	5	7.0%	96	専門・専門外含む	99.0%	1	1.0%	0	-	実施時期①＋② 10 校、②＋③ 14 校、①＋③ 1 校
5	7.2%	62	89.9%	2	2.9%	69	100.0%	-	-	-	-	-	-
31	10.3%	195	64.8%	75	24.9%	89	30.1%	161	54.4%	39	13.2%	7	2.4%
3	1.7%	77	44.5%	93	53.8%	28	17.5%	119	74.4%	3	1.9%	10	6.3%
6	14.3%	30	71.4%	6	14.3%	9	20.9%	34	79.1%	-	-	-	-
24	7.8%	205	66.8%	78	25.4%	36	14.7%	190	77.6%	16	6.5%	3	1.2%
4	4.9%	66	80.5%	12	14.6%	30	36.6%	52	63.4%	-	-	-	-
16	13.7%	66	56.4%	35	29.9%	26	24.3%	71	66.4%	5	4.7%	5	4.7%
14	11.6%	81	66.9%	26	21.5%	85	専門・専門外含む	70.2%	19	15.7%	17	14.0%	
0	0.0%	56	98.2%	1	1.8%	4	7.0%	45	78.9%	7	12.3%	1	1.8%
4	4.0%	78	78.0%	18	18.0%	-	-	-	-	12	10.9%	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	5.3%	32	84.2%	4	10.5%	13	31.7%	24	58.5%	3	7.3%	1	2.4%
11	6.4%	128	74.9%	32	18.7%	-	-	-	-	20	11.7%	7	4.1%
8	12.5%	50	78.1%	6	9.4%	-	-	-	-	4	6.3%	0	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	6.2%	-	-
0	-	79	96.3%	3	3.7%	4	5.6%	41	56.9%	27	37.5%	0	-
-	-	-	-	-	-	-	-	56	78.9%	10	14.1%	5	7.0%
4	3.1%	106	82.8%	18	14.1%	110	専門・専門外含む	85.9%	-	-	18	14.1%	大学との連携
5	4.8%	61	58.7%	38	36.5%	15	14.9%	69	68.3%	14	13.9%	3	3.0%
13	6.3%	129	62.0%	66	31.7%	187	専門・専門外含む	94.0%	12	6.0%	-	-	複数体制、中高一貫校の高等学校教員
-	-	54	87.1%	8	12.9%	21	33.9%	36	58.1%	1	1.6%	4	6.5%
1	1.4%	12	17.4%	56	81.2%	49	46.2%	20	18.9%	37	34.9%	0	-
3	2.8%	91	84.3%	14	13.0%	38	31.1%	64	52.5%	10	8.2%	10	8.2%
0	-	172	100.0%	0	-	17	9.9%	142	82.6%	5	2.9%	8	4.7%
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	2.3%	17	39.5%	25	58.1%	19	44.2%	24	55.8%	0	-	0	-
1	0.8%	87	71.9%	33	27.3%	-	-	-	-	-	-	-	-
7	5.4%	98	76.0%	24	18.6%	46	31.7%	83	57.2%	16	11.0%	0	-
10	4.5%	174	79.1%	36	16.4%	203	69.5%	27	9.2%	40	13.7%	22	7.5%
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	8.8%	-	-
613	7.4%	6,013	72.5%	1,671	20.1%	1,828	28.1%	2,013	30.9%	883	13.6%	230	3.5%
保体科教員のみ（専門・専門外含む） 1557 校 23.9%													